

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成24年8月10日
【四半期会計期間】	第23期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	株式会社エフアンドエム
【英訳名】	F&M CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 森中 一郎
【本店の所在の場所】	大阪府吹田市江坂町1丁目23番38号
【電話番号】	06(6339)7177(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 田辺 利夫
【最寄りの連絡場所】	大阪府吹田市江坂町1丁目23番38号
【電話番号】	06(6339)7177(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 田辺 利夫
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号) 株式会社エフアンドエム東京支社 (東京都中央区京橋1丁目2番5号) 株式会社エフアンドエム名古屋支社 (名古屋市中村区名駅南1丁目21番19号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第22期 第1四半期連結 累計期間	第23期 第1四半期連結 累計期間	第22期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(千円)	917,204	931,164	3,834,131
経常利益(千円)	79,331	74,445	440,360
四半期(当期)純利益(千円)	34,377	20,321	237,829
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	33,050	18,536	236,970
純資産額(千円)	3,660,525	3,815,934	3,864,226
総資産額(千円)	4,693,259	4,803,556	4,982,172
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	2.39	1.42	16.56
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	77.7	79.1	77.3

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 当社は、平成24年4月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

#### 2【事業の内容】

当社グループ(当社及び当社の関係会社)は、当社(株式会社エフアンドエム)、子会社3社により構成されており、アウトソーシング事業、エフアンドエムクラブ事業、タックスハウス事業、不動産賃貸事業を主たる業務としております。

当第1四半期連結累計期間における、各セグメントに係る主な事業内容の変更と主要な関係会社の異動は、概ね次のとおりであります。

##### <アウトソーシング事業>

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

##### <エフアンドエムクラブ事業>

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

##### <タックスハウス事業>

当第1四半期連結累計期間から、従来その他事業で行ってございましたWebマーケティング事業は、タックスハウス事業で行っております。また、主要な関係会社の異動はありません。

##### <不動産賃貸事業>

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

##### <その他>

当第1四半期連結累計期間から、従来その他事業で行ってございましたWebマーケティング事業は、タックスハウス事業で行っております。また、平成24年5月に、駐車場リーシング等を行う子会社、株式会社フォーパーキングを設立しました。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### （1）業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内需関連業界の一部には復調の兆しが見られるものの、長引く欧州債務危機に伴う世界的な景気低迷や円高の影響から脱することができない状況にありました。

また、新興国経済の成長ペースも鈍化し始めており、世界的な景気減速の流れの中、経営環境は引き続き厳しいものとなりました。

このような経済状況のもと、当社グループは主要事業の会員数の増加に努めるとともに、サービス内容の拡充と業務の効率化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高9億31百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益73百万円（同8.0%減）、経常利益74百万円（同6.2%減）、四半期純利益20百万円（同40.9%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### アウトソーシング事業

生命保険営業職員を中心とする個人事業主に対する記帳代行に関しましては、前期から引き続き会員数の増加に注力してまいりました。その結果、当第1四半期連結会計期間末（平成24年6月30日）の記帳代行会員数は37,418名（前期末比650名増）となりました。

この結果、アウトソーシング事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は4億8百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は1億44百万円（同25.2%減）となりました。

#### エフアンドエムクラブ事業

中堅中小企業の総務経理部門に対する各種情報提供サービスを核とするエフアンドエムクラブ事業は、総務業務関連の情報提供サービス、経営・財務面での情報提供サービスの販路拡大とサービス拡充に努めました。財務関連情報提供サービスは、会員企業の財務諸表からキャッシュ・フロー診断を行い、資金戦略を支援する『財務サポートサービス』、格付診断書を作成し、診断結果をベースに改善すべき点を洗い出し、将来の財務体質の強化、銀行からの格付を改善することを目指す『格付診断サービス』、短期の経営計画立案を支援し、これをキャッシュ・フローに置き換えて可視化する『CF決算予測』が、引き続き反響を得ております。また、人材育成における課題解消のために、リーダーシップ、ビジネスマナー、ヒューマンスキルに加え、ファシリテーション、営業力など研修ラインナップの充実と提供体制の構築及び販路拡大のための活動を行いました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末（平成24年6月30日）のエフアンドエムクラブ会員数は3,793社（前期末比57社増）となりました。

この結果、エフアンドエムクラブ事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は3億22百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は90百万円（同234.7%増）となりました。

#### タックスハウス事業

ワンストップ・ファイナンシャルショップを目指す税理士・公認会計士のボランタリーチェーン「TaxHouse」の本部を運営するタックスハウス事業は、加盟店が関与先企業に対して、資金繰りのコンサルティングや金融機関対策など高付加価値サービスを提供するための継続的な研修の実施、ホームページの開設・運用に関するサービス提供体制の整備を進めるなど、各店舗の収益力の向上に注力いたしました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末（平成24年6月30日）の「TaxHouse」加盟事務所数は413件（前期末より増減なし）となり、ランチを含めた加盟店舗数は443店舗（前期末比1店舗減）となりました。

生命保険営業職員に限らない一般の記帳代行会員に対する記帳代行事業については、引き続き会員数の増加に注力いたしました。その結果、当第1四半期連結会計期間末（平成24年6月30日）の生命保険営業職員に限らない一般の記帳代行会員数は2,353名（前期末比128名増）となりました。

また当第1四半期連結累計期間より、これまでその他事業としておりました、Webマーケティング事業をタックスハウス事業で行うことといたしました。これにより前期より進めております、小規模事業者をターゲットとした全国統一価格による均一の記帳代行サービスの『タックスハウス記帳代行サービス』の販路拡大に合わせて、ホームページの販売が可能となります。さらに、全国の中小企業400万社のためのコミュニティポータルサイト『Bizプラ（Business Planet）』のターゲットと『タックスハウス記帳代行サービス』のターゲットには高い親和性があるため、事業規模拡大に向けた相乗効果が期待できます。

この結果、タックスハウス事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は1億15百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は1百万円（同90.5%減）となりました。

#### 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は大阪本社が所有するビルの賃貸収入で、安定した収益を計上しております。当期売上高は、150万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は600万円（同6.6%減）となりました。

#### その他事業

その他事業は、連結子会社エフアンドエムネット株式会社のシステム開発事業、パソコン教室運営及びFC指導事業等になります。

パソコン教室から改変した資格学校アテナの運営においては、受講生同士のつながりを作ることを目的とした交流の場を設けることで教室に対する受講生のロイヤリティを高め、受講継続率の向上に努めました。併せてiPad活用講座のテストマーケティングを行うなど、利用者の幅に広がりを見せているスマートフォンやタブレット端末への対応を進めました。

この結果、その他事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は690万円（前年同期比12.8%減）、140万円の営業損失（前年同期は140万円の営業損失）となりました。

### （2）財政状態の分析

#### （資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は25億2200万円となり、前連結会計年度末に比べ、1億5900万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が5400万円増加した一方、現金及び預金が1億9000万円、繰延税金資産が3000万円減少したことなどによるものです。

固定資産は22億8100万円となり、前連結会計年度末に比べ1800万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が5000万円、投資その他の資産が1000万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は、48億3000万円となり、前連結会計年度末に比べ1億7800万円減少いたしました。

#### （負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は5億4900万円となり、前連結会計年度末に比べ1億6000万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が7200万円、賞与引当金が5700万円減少したことなどによるものです。

固定負債は4億3800万円となり、前連結会計年度末に比べ2400万円減少いたしました。これは主に長期借入金が2400万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、9億8700万円となり、前連結会計年度末に比べ1億3000万円減少いたしました。

#### （純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は38億1500万円となり、前連結会計年度末に比べ4800万円減少いたしました。これは主に四半期純利益2000万円、配当金の支払7100万円などによるものであります。

この結果、自己資本比率は79.1%（前連結会計年度末は77.3%）となりました。

### （3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

### （4）研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額はありません。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	50,400,000
計	50,400,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	15,481,400	15,481,400	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	15,481,400	15,481,400	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年4月1日 (注)	15,326,586	15,481,400	-	907,401	-	287,900

(注) 株式分割(1:100)によるものであります。

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 11,212	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 143,602	143,602	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	154,814	-	-
総株主の議決権	-	143,602	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が33株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数33個が含まれております。

【自己株式等】

平成24年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社エフアンドエム	大阪府吹田市江坂町1丁目23番38号	11,212	-	11,212	7.24
計	-	11,212	-	11,212	7.24

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人彌榮会計社による四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,439,638	2,248,830
受取手形及び売掛金	138,879	193,457
商品及び製品	12,479	12,283
仕掛品	1,140	5,941
原材料及び貯蔵品	3,171	3,299
繰延税金資産	68,432	37,497
その他	39,889	50,994
貸倒引当金	21,339	29,796
流動資産合計	2,682,292	2,522,507
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	923,704	917,709
工具、器具及び備品(純額)	82,997	83,293
土地	729,631	729,631
有形固定資産合計	1,736,332	1,730,634
無形固定資産		
のれん	12,676	12,446
その他	146,948	144,393
無形固定資産合計	159,625	156,839
投資その他の資産		
投資有価証券	15,990	16,900
繰延税金資産	28,277	25,706
滞留債権	149,362	143,726
差入保証金	176,950	172,886
保険積立金	153,804	155,831
その他	44,371	41,080
貸倒引当金	164,833	162,557
投資その他の資産合計	403,922	393,575
固定資産合計	2,299,880	2,281,049
資産合計	4,982,172	4,803,556

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,450	9,658
短期借入金	96,800	96,800
未払法人税等	95,181	22,350
賞与引当金	126,896	69,759
その他	324,082	350,755
流動負債合計	655,411	549,323
固定負債		
長期借入金	405,200	381,000
負ののれん	2,724	2,679
その他	54,610	54,619
固定負債合計	462,534	438,298
負債合計	1,117,946	987,622
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	907,401	907,401
資本剰余金	2,085,810	2,085,810
利益剰余金	1,129,036	1,077,556
自己株式	271,316	271,316
株主資本合計	3,850,931	3,799,452
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	232	818
その他の包括利益累計額合計	232	818
新株予約権	3,303	3,276
少数株主持分	9,758	12,387
純資産合計	3,864,226	3,815,934
負債純資産合計	4,982,172	4,803,556

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	917,204	931,164
売上原価	293,495	275,069
売上総利益	623,709	656,094
販売費及び一般管理費	544,295	583,058
営業利益	79,413	73,036
営業外収益		
受取利息	1,985	1,951
受取配当金	310	313
助成金収入	230	990
負ののれん償却額	45	45
業務受託料	321	323
保険事務手数料	138	112
その他	115	774
営業外収益合計	3,145	4,510
営業外費用		
支払利息	3,227	2,714
その他	0	387
営業外費用合計	3,228	3,101
経常利益	79,331	74,445
特別利益		
投資有価証券売却益	261	-
新株予約権戻入益	-	27
特別利益合計	261	27
特別損失		
固定資産除却損	0	3,637
たな卸資産評価損	-	198
特別損失合計	0	3,835
税金等調整前四半期純利益	79,592	70,637
法人税、住民税及び事業税	10,575	19,506
法人税等調整額	35,925	33,180
法人税等合計	46,500	52,687
少数株主損益調整前四半期純利益	33,091	17,950
少数株主損失( )	1,285	2,371
四半期純利益	34,377	20,321

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	33,091	17,950
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	41	585
その他の包括利益合計	41	585
四半期包括利益	33,050	18,536
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,335	20,907
少数株主に係る四半期包括利益	1,285	2,371

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

(1) 連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間において、株式会社フォーパークングを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【会計上の見積りの変更】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負のれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	24,016千円	29,216千円
のれんの償却額	230	230
負のれんの償却額	45	45

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	71,801	500	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	71,801	500	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

「当第1四半期連結累計期間 3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	アウトソーシング事業	エフアンドエムクラブ事業	タックスハウス事業	不動産賃貸事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	408,142	322,604	115,313	15,946	862,007	69,156	931,164
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	531	2,831	1,824	5,187	12,382	17,569
計	408,142	323,136	118,144	17,770	867,194	81,539	948,733
セグメント利益又は損失( )	144,643	90,675	1,664	6,940	243,924	14,218	229,705

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社エフアンドエムネット株式会社のシステム開発事業並びにパソコン教室運営及びFC指導事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	243,924
「その他」の区分の損失	14,218
セグメント間取引消去	290
のれんの償却額	105
全社費用(注)	160,490
固定資産の調整額	4,216
四半期連結損益計算書の営業利益	73,036

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から、従来その他事業で行ってございましたWebマーケティング事業は、タックスハウス事業で行っております。

前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間について、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	アウトソーシング事業	エフアンドエムクラブ事業	タックスハウス事業	不動産賃貸事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	413,810	289,893	118,297	15,932	837,933	79,270	917,204
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	584	10,069	1,824	12,477	14,742	27,220
計	413,810	290,477	128,366	17,756	850,411	94,013	944,424
セグメント利益又は損失( )	193,305	27,095	17,596	7,428	245,427	14,207	231,219

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社エフアンドエムネット株式会社のシステム開発事業並びにパソコン教室運営及びFC指導事業等を含んでおります。

また、報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	245,427
「その他」の区分の損失	14,207
セグメント間取引消去	282
のれんの償却額	105
全社費用(注)	153,677
固定資産の調整額	2,259
四半期連結損益計算書の営業利益	79,413

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	2円39銭	1円42銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	34,377	20,321
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	34,377	20,321
普通株式の期中平均株式数(株)	14,360,200	14,360,200
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、平成24年4月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たりの四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月10日

株式会社エフアンドエム  
取締役会 御中

### 監査法人彌榮会計社

指定社員 公認会計士 薩摩 嘉則 印  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 山西 賢宏 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エフアンドエムの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エフアンドエム及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。